

一般社団法人神奈川県作業療法士会 第 13 回定時社員総会議事録

令和 8 年（2026 年）5 月 10 日（日）午後 13 時 30 分、神奈川県横浜市中区寿町 1-4 神奈川県立かながわ労働プラザにおいて、一般社団法人神奈川県作業療法士会（以下、本会）第 13 回定時社員総会を開催した。

議決権のある正社員総数（2026 年 5 月 10 日現在の代議員総数） 76 名
総会開会における定足数 代議員総数の 3 分の 1 以上の出席
議場出席代議員数 35 名
議決権行使書数 15 通
委任状数 20 通
議決権の総数 70 通

総会役員 議長	田中 秀和氏
議事運営委員	吉本 雅一氏 田中 達也氏
書記	齊田 浩彰氏
議事録署名人	塩澤 崇夫氏 金原 衣理子氏

出席理事・監事は次の通り

イ.代表理事 神保武則	ロ.理事 田中ゆかり	ハ.理事 奥原孝幸
二.理事 遠藤陵晃	ホ.理事 望月強併	ヘ.理事 玖島弘規
ト.理事 佐々木秀一	チ.理事 山勢健太郎	リ.理事 澤口勇
ヌ.理事 神保洋平	ル.理事 神田崇央	ヲ.理事 佐藤隼
ワ.理事 石川恵美子	カ.理事 佐伯まどか	ヨ.理事 村仲隼一郎
タ.理事 青木啓一郎	レ.監事 野々垣睦美	ソ.監事 錠内広之
ツ.顧問 渡邊慎一		

19 名の理事・監事・顧問が議場にて出席。理事 1 名が欠席。

その他、選挙管理委員長廣瀬智哉氏が出席。

午後 13 時 30 分定刻となり、望月強併事務局長は定時社員総会開会に先立ち、開会のあいさつを行った。続いて議長団の選出に移り議長は田中秀和氏が立候補により選任された。議長の議事進行により、議事運営委員は吉本雅一氏、田中達也氏、書記に齊田浩彰氏、議事録署名人に塩澤崇夫氏、金原衣理子氏が立候補され選任された。

代表理事神保武則氏があいさつを行い、社員総会の開会を宣言し、第 13 回定時社員総会を開始した。続いて、議事運営委員吉本雅一氏より、総会成立及び総会議事運営案について以下のように提案し承認された。

I. 総会の成立

2026 年 5 月 10 日現在の代議員総数は 76 名で、午後 13 時 37 分現在、代議員総数のうち 35 名が出席、41 名が欠席、議決権行使書が 15 通、委任状が 20 通であり、議決権の総数は 70 通で、総会開会の定足数、代議員総数の 3 分の 1 以上を満たしており、本総会は成立していることを確認し報告された。

また下記の議事運営案を提示し賛成多数で承認された。

1. 本総会には、第 1 号、第 2 号、第 3 号、第 4 号議案の他に議案は提出されていない。
2. 第 1 号議案及び第 2 号議案は 2025 年度の事業及び決算報告であるため一括して説明した上で、それぞれ審議する。
3. 第 3 号議案は規程に関する議案であり一括して説明した上で審議する。
4. 第 4 号議案は代議員選挙に関する議案であり個別に説明した上で審議する。
5. 2026 年度事業計画及び予算案については報告事項となっている。それぞれ説明した上で質疑応答の時間は設けるが審議は行わない。

II. 第 1 号議案 2025 年度（令和 7 年度）事業報告

2025 年度事業報告について、事務局部門を田中ゆかり副会長、教育部門を奥原孝幸副会長、制度対策及び地域部門を遠藤陵晃副会長より説明した。

III. 第 2 号議案 2025 年度（令和 7 年度）決算報告ならびに監査報告

2025 年度決算報告について、財務部担当理事の山勢健太郎氏より説明した。

監査報告については野々垣睦美監事より監査結果について説明し、活動ならびに収支が健全に行われていることを報告した。

第 1 号議案ならびに第 2 号議案に対する質疑がなかったため採決へ移行した。

第 1 号議案採決

採決：賛成 70 名、保留 0 名、反対 0 名、賛成多数と認め、承認された。

第 2 号議案採決

採決：賛成 70 名、保留 0 名、反対 0 名、賛成多数と認め、承認された。

IV. 第 3 号議案 規程の修正について

一般社団法人神奈川県作業療法士会会員規程の修正及び選挙管理規程の修正について規約部担当理事の神田崇央氏より説明した。第 3 号議案において質疑がなかったため採決へ移行した。

第 3 号議案

採決：賛成 69 名、保留 1 名、反対 0 名、賛成多数と認め、承認された。

V. 第 4 号議案 代議員選挙結果について

廣瀬智哉選挙管理委員長から令和 8・9 年度代議員選挙において立候補者数と推薦候補者数が定数と同数となったため無投票当選となったことを説明し、質疑がなかったため採決へ

移行した。

採決：賛成 70 名、保留 0 名、反対 0 名、賛成多数と認め、承認された。

VI. 報告事項

議案の報告の前に、一般社団法人神奈川県作業療法士会 4 か年計画後期（2025-2026）について神保武則会長が説明した。

続いて、第 1 号議案 2026 年度事業計画について、事務局部門を田中ゆかり副会長、教育部門を奥原孝幸副会長、制度対策及び地域部門を遠藤陵晃副会長より説明した。

第 2 号議案 2026 年度予算案について、財務部担当理事の山勢健太郎氏より説明した。

第 1 号議案ならびに第 2 号議案に対する質疑については以下のように行われた。

質問者：宮内貴之 代議員（湘南医療大学保健医療学部）

地域社会振興部と制度対策部において複数の班が存在しているが日本作業療法士協会や制度に準じて構成されているのか。

回答者：遠藤陵晃副会長

制度対策部における班は日本作業療法士協会に準じて設置している。

地域社会振興部については地域共生社会における地域課題や求められている活動を踏まえて設置している。どの班も単独ではなく、各班が連携し対応している。

質問者：宮内貴之 代議員（湘南医療大学保健医療学部）

神奈川県は高次脳機能障害に対して先駆的な取り組みをしている。その中で高次脳機能障害者支援法が成立し、今後さらに支援の重要性が高くなってくると考えるが神奈川県作業療法士会として推進していく予定はあるか。

回答者：遠藤陵晃副会長

高次脳機能障害関連の情報は当会にも入って来ている。当会としても県内の先駆的な取り組みを推進し、様々な班と協力していきながら事業を進めていく。

議長は以上をもって全議案の審議及び報告が終了したため午後 14 時 51 分に閉会を宣言し、議長団は解任となった。

最後に望月強併事務局長より、本総会でのご意見を今後の理事会運営に活かすとともに今後も当会の活動にご尽力頂けるようお願いをした。

以上をもって一般社団法人神奈川県作業療法士会第 13 回定時社員総会を終了した。

上記の決議を明確にするために、この議事録を作成し、議長及び議事録署名人がこれに記名押印する。

一般社団法人神奈川県作業療法士会 第13回定時社員総会議事録

2026年（令和8年）5月10日（日曜日）

一般社団法人神奈川県作業療法士会第13回定時社員総会

議長 田中 秀和 認印

議事録署名人 塩澤 崇夫 認印

議事録署名人 金原 衣理子 認印